

令和6年度  
山形県立保健医療大学 保健医療学部  
一般選抜（前期日程）

# 総 合 問 題

## 注 意 事 項

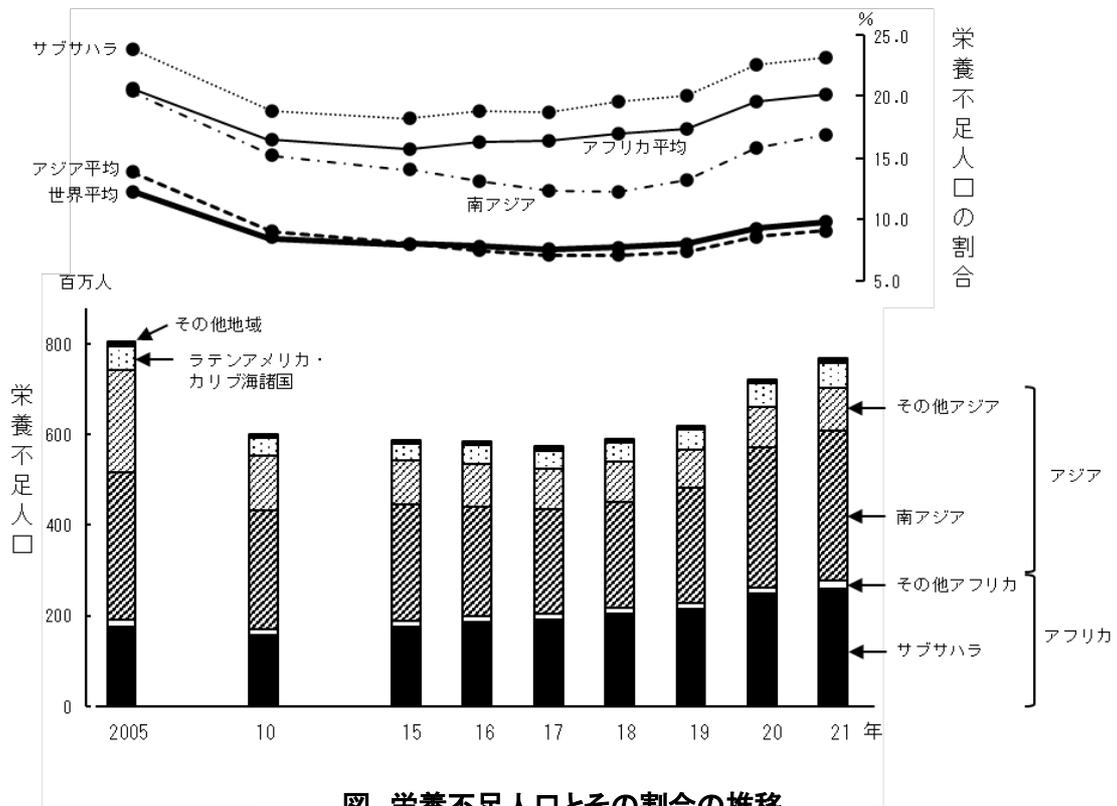
1. 試験開始の合図があるまで、問題冊子の中を見てはいけません。
2. 問題は4ページ、解答用紙は4枚です。  
試験開始の合図とともに、直ちに問題冊子、解答用紙を点検し、印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁および汚れ等があったら、手を挙げて監督者に知らせてください。  
ただし、問題の内容や解答の仕方についての質問は受け付けません。
3. 監督者の指示に従って、解答用紙のすべてに受験番号・氏名を記入してください。
4. 解答は、解答用紙の解答欄に記入してください。
5. 解答用紙の※欄に記入してはいけません。
6. 解答用紙のホッチキス止めを切り離してはいけません。
7. 問題冊子の余白等は適宜利用してもかまいません。
8. 試験中は監督者に許可なく自席を離れたり、私語や談笑をしてはいけません。
9. 試験終了後、問題冊子は持ち帰ってください。

# 1

2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標として、持続可能な開発目標（Sustainable Development Goals : SDGs）が設定されている。その一つに「飢餓をゼロに」が掲げられている。次の問いに答えなさい。

問1 飢餓とは、長期にわたり十分に食べられず栄養不足となり、生存と社会的な生活が困難な状態になることである。飢餓の要因を3つ列挙し、その理由を説明しなさい。

問2 飢餓をゼロにするには栄養不足の解決は不可欠である。図は、世界の地域ごとの栄養不足人口とその割合を示している。図から読み取れることを説明し、それをふまえて栄養不足の解決策についてあなたの考えを400字以内で述べなさい。



※サブサハラ：サハラ砂漠以南のアフリカ

出典 The State of FOOD SECURITY AND NUTRITION IN THE WORLD (2022.7)を基に作成  
 (<https://www.fao.org/3/cc0639en/cc0639en.pdf>)

以下の文章は、最近の大学生の視聴方法を調査した中から、3人の回答の一部を抜粋したものである。大学生がこのような視聴方法を取ることにについて、次の問いに答えなさい。

問1 賛成の立場から良いと考える理由を300字以内で述べなさい。

問2 反対の立場から良くないと考える理由を300字以内で述べなさい。

YouTuberの動画やABEMAの恋愛バラエティショーが好きだというAさん（女性・大学4年生）は、Amazonプライム・ビデオやNetflixで映画もよく観る。

（中略）

「最初からずっと早送りで、何か状況が変わりそうなシーンで通常速度に戻す。最初と最後がわかればいい。最後ハッピーエンドで終わったので、あ、オッケーかなって」

それで楽しめたかを聞くと、「おもしろかった」。そんなにおもしろかったなら、飛ばして観てもったいないとは思わないかと聞くと、「全然」と即答された。

「結果的に1時間もかかんないくらいで観られたんですけど、もし2時間近くもかけちゃってたら、おもしろさよりも『ああ、こんなに時間を使っちゃったんだ』みたいな後悔のほうが大きくなると思う」

そうまでして時間を節約したいなら、観ないという選択肢はないのか。

「ないです。ちょっとつまんで観ておけば、誰かが話題に出した時に『ああ、観たよ』って言えるじゃないですか」

AさんはYouTubeも“効率的”に観る。コメント欄に「何分何秒のシーンが良かった」と書き込まれていれば、そこまで倍速で観て、該当シーンだけを通常速度で観るのだ。

Aさんは嵐の松本潤が主演、ヒロイン役を石原さとみが演じたTVドラマ『失恋ショコラティエ』（フジテレビ系、2014年1～3月放映）も、録画を早送りで観た。

「マツジュン（松本潤）がチョコ作ってるところが、どうでもいいなあと思って。そういうシーンは全部飛ばしてました」

一応断っておくと、同作はショコラティエ（チョコレート職人）たちの話なので、チョコを作るシーンは作品のメインテーマにも深く関わっている。

「石原さとみがかわいいから観ていただけなので」

お目当ての俳優をただ見ていたいから、彼（彼女）が出ていないシーンは飛ばす、という人は少なくない。ある女子大学生は「自分が好きな俳優さんや女優さんが出ている作品を観るときは、あらかじめレビューを読み、評価が高いシーンや心が躍りそうなシーン（話が展開するシーンやキュンキュンするシーン）だけを観ることが多い」という。

（中略）

連続シリーズものが長い、すなわち話数が多いゆえに倍速視聴するケースは多い。「周囲で話題になっているアニメシリーズを観ようと思ったが、数十話もあるので最初から2倍速で観た、10秒飛ばして観た」など。それが進むと、やがて“話ごと”飛ばすようになる。

Gさん（女性・大学2年生）はNetflixで韓国ドラマシリーズをよく観る。2020年に話題となった『愛の不時着』（Netflix、全16話）はもちろん観たが、初見時から話ごと丸々スキップして観た。

「途中まで普通に観てたんですけど、早く結末を知りたかったので、途中話を何話か飛ばしていきなり最終話を観ました」

平然と話す彼女に唾然とした。ただ、彼女には「2周目」がある。

「結末を知って安心したので、2回目は最初から1話ずつ飛ばさず丁寧に観て、サブキャラクターのおもしろさに気づいたりしましたね」

Gさんは本もそういう読み方をする。

（中略）

ドラマにせよ小説にせよ、飛ばした箇所には新しい登場人物や重要な伏線が描かれているかもしれない。否、当然描かれているだろう。そこは気にならないのか。

「『突然出てきたこいつ、誰？』ってなることはよくありますよ（笑）。でも、どうせ2回目もあるんだし、気にしません」

Aさんもそれに近い。刑事物のドラマなどで、最初だけ観て誰かが殺されたら、真犯人がわかる最後まで飛ばす。それで「楽しみが減る」という感覚はない。それよりは、早く結末を知ることができる快感のほうが大きい。

大学生たちへのヒアリングでは、何人かから同じような言葉が聞かれた。

「せっかちなんですよ、私（僕）」

（中略）

こんな観方もある。動画配信サービスをPCで視聴する際のDさん。

「いろいろな人の考察を参照しながら映画を観たいので、ブラウザのタブを10個くらい開けておき、そのうちのひとつで映画を観ます。このセリフ、このシーンはどういう意味なのかな？と思ったら一旦止めて、考察サイトのタブで該当箇所の解説を読む」

彼のお気に入りが『新世紀エヴァンゲリオン』だというのもうなずける。作中で提示される謎や考察サイトの多さについては、他の追従を許さない。

作品を深く知りたい、腑分けしたいという意欲は理解できる。ただ、コマ何秒単位でカット割りや「間」を計算している作り手としては、頻繁な一時停止とタブの往復を伴う鑑賞方法に何を思うか。

出典 稲田 豊史. 『映画を早送りで見ている人たち：ファスト映画・ネタバレ—コンテンツ消費の現在形』, 光文社, 2022, pp. 40-63. (一部改変)